

3.3 入出力特性を測定する

入出力特性の測定と並行して、オシロスコープで入力波形および出力波形を観察、記録する

- (1) 電源電圧を $E_C(V_{CC}) = 12V$ とし、発振器の周波数を $1kHz$ 一定の正弦波とする
- (2) 入力電圧 V_i を増加させ、その時の出力電圧 V_o の値を記録する

測定を終えたら、次の作業を行う

- (1) 電圧増幅度 ($A_V = V_o/V_i$) を計算する
- (2) 入出力特性 (入力電圧ー出力電圧) をグラフに表す
- (3) グラフの直線部分を直線のまま延伸し、実測値と離れる時の入力電圧を読み取る
- (4) その時の入力電圧の前後で、出力波形に歪みを生じ始めていることを確認する

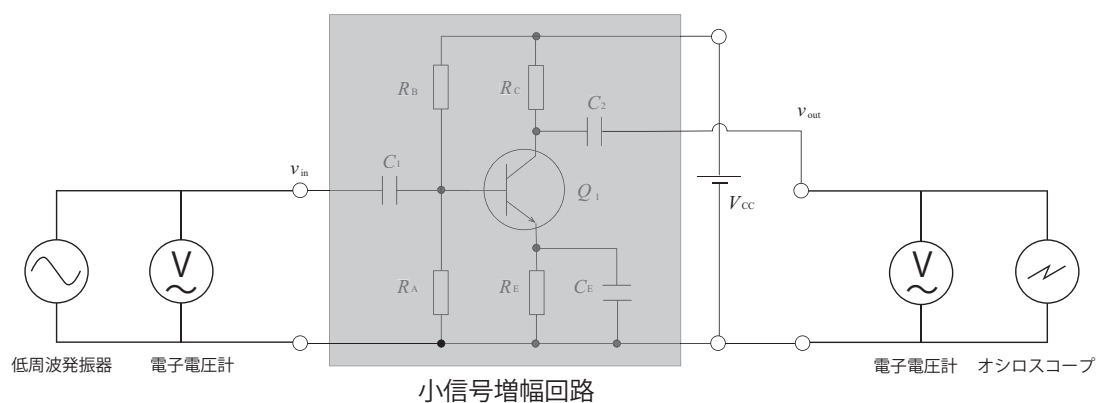


図 2.3 実習装置

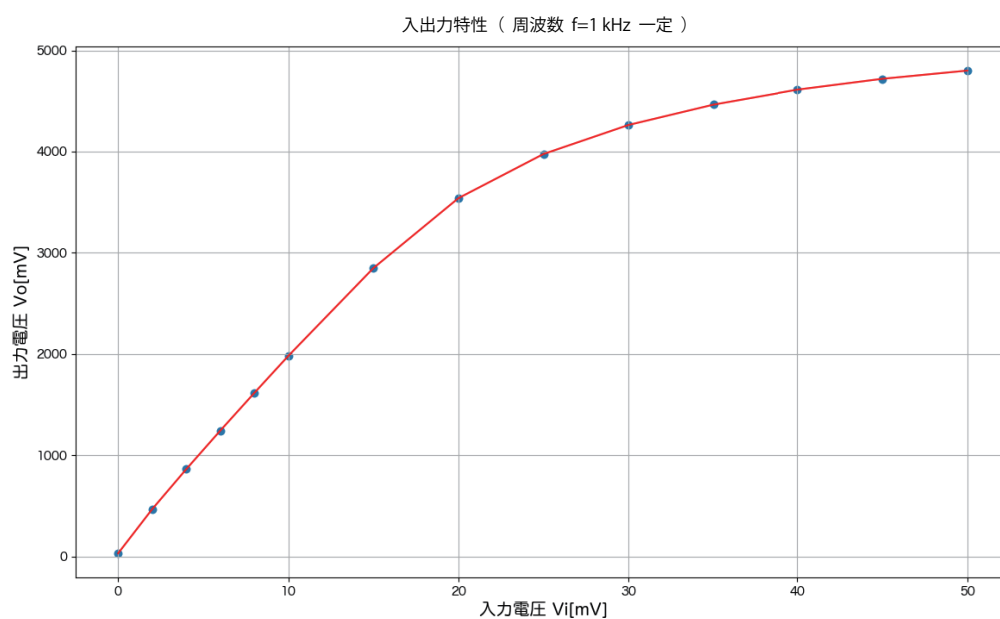


図 2.4 入出力特性のグラフ作成例